

名古屋大学におけるIdPの構築

名古屋大学情報連携基盤センター

平野 靖



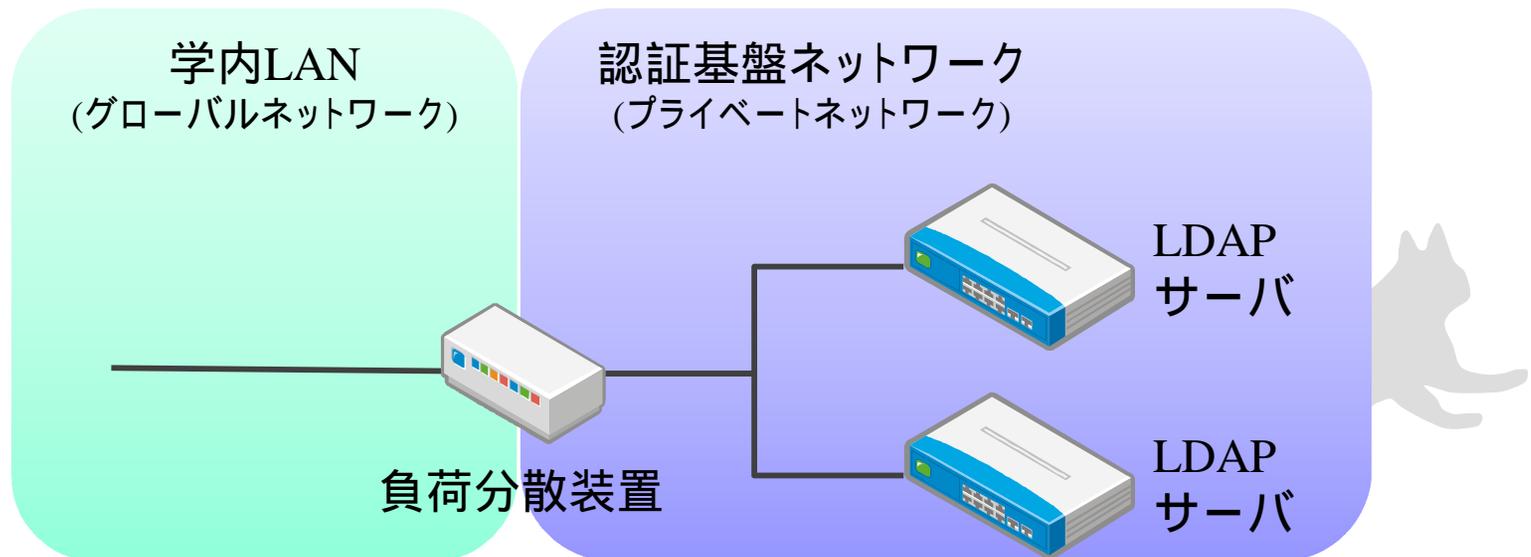
UPKIシングルサインオン 実証実験への参加状況

- IdP: 構築済み
 - 全学のユーザ認証基盤を参照
- SP: 未構築
 - 現在のところ, UPKI-Fed参加機関にのみアクセスOKなコンテンツが見つからない
 - 学内のみOK or 世界中の誰でもOK
 - e-learningやVOなど



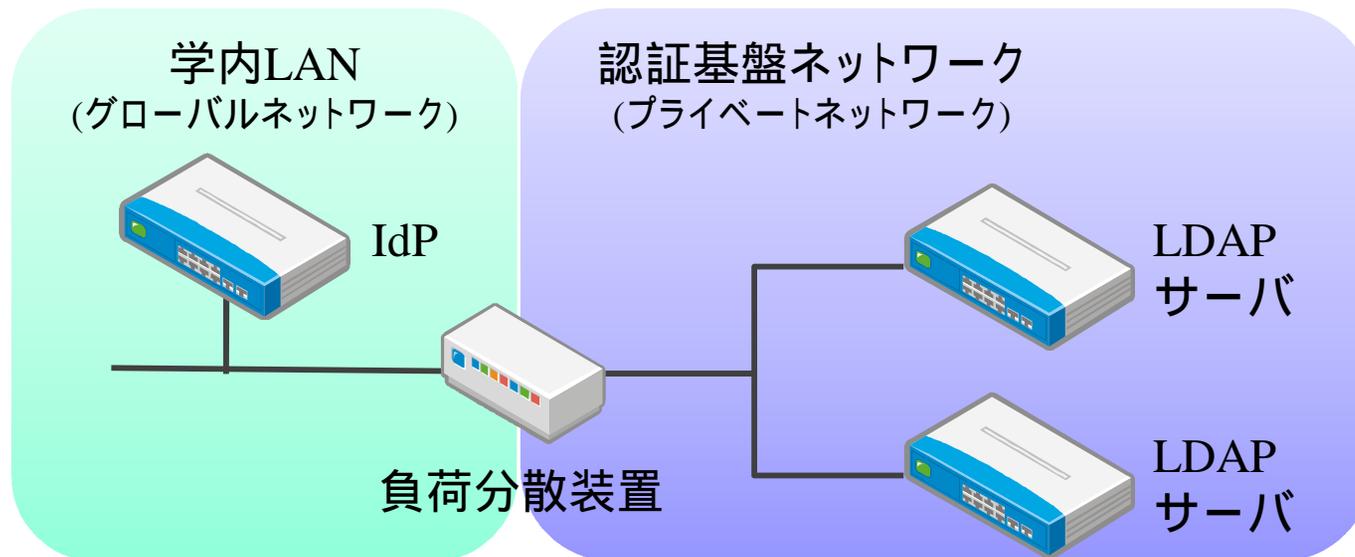
名大のユーザ認証基盤の構成

- 複数台のLDAPサーバ + 負荷分散装置
 - LDAPサーバ: ユーザの認証情報を格納
 - Solaris 9 (UltraSPARC IIIi)
 - Sun Java System Directory Server Enterprise Edition



構築したIdPの構成

- Solaris 9 (UltraSPARC IIIi) + Shibboleth
 - 既存の認証基盤がSolarisで運用されており、技術職員がSolarisに慣れている
- IdP外部のLDAPサーバを参照



構築したIdP

● IdP

- Solaris 9
- Tomcat 6.0.18
- Apache 2.2.6
- shibboleth-idp-2.0.0

● LDAPサーバ

- Solaris 9
- Sun Java System Directory Server Enterprise Edition



名大のユーザ認証基盤

- LDAPサーバ
 - CASサーバの認証DB
 - 非Webアプリのためのユーザ認証
- 負荷分散装置
- CAS(Central Authentication Service)サーバ
 - Webアプリに対するSSO
 - 学内(情報連携統括本部外も含む)で運用される情報サービスのユーザ認証



SWITCH

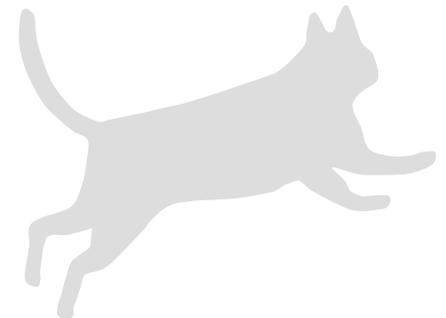
- スイスの大学が共同で設立した団体
- スイスの大学に対するネットワークサービスを提供
 - インフラ , e-Learning , Grid , 認証・認可基盤 (Authentication and Authorization Infrastructure (AAI)) , ...
- Shibbolethベースの認証・認可フェデレーションを構築
 - スイス国内75%の大学が利用



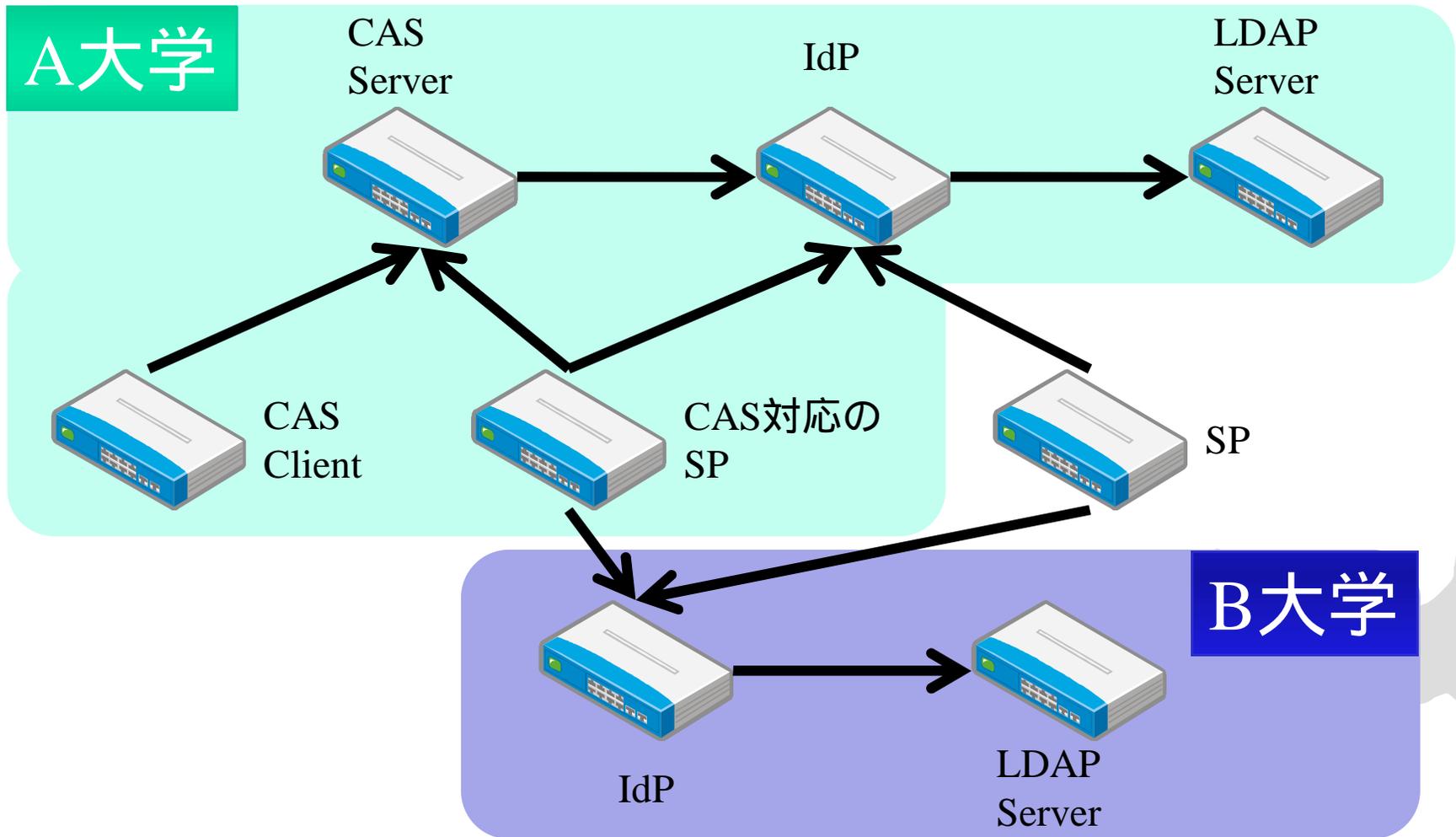
CASのShibboleth対応： SWITCHによる実装

- CASの認証DBとしてIdPを参照
- ShibbolethのWebアプリをCAS対応に
- <https://www.switch.ch/aai/docs/shibboleth/SWITCH/1.3/idp/install-cas.html>
 - CAS Server 2.0.12
 - Shibboleth 1.3

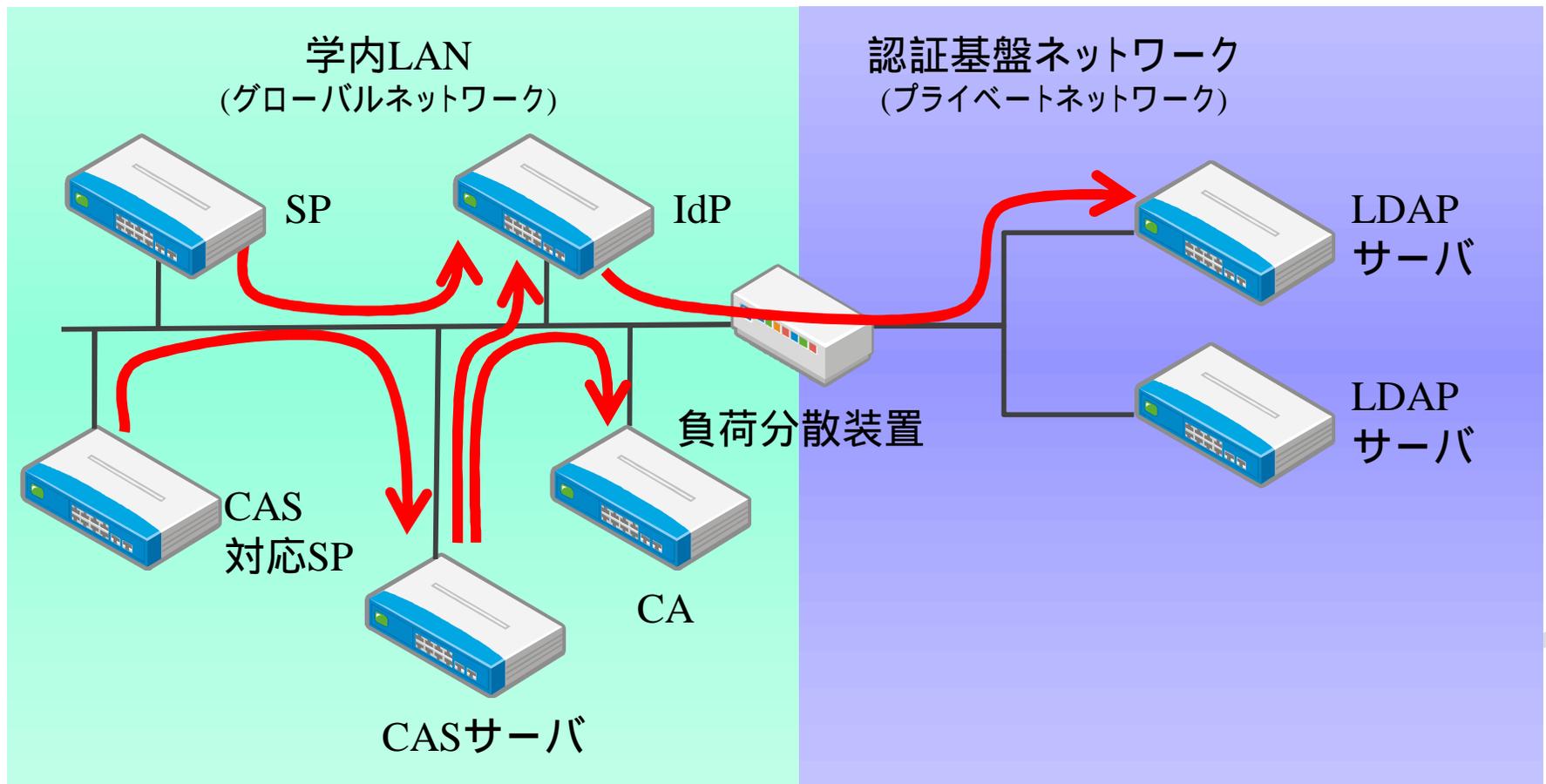
} 少し古い



CASのShibboleth対応： SWICHによる実装



検証実験環境



今後の計画

- CAS Ver.3とShibboleth Ver.2.1での検証
- CASの認証DBとしてLDAPサーバとIdPの両方を使えるかの検証
- 名大版CASとの連携

